様式2

公共事業事前評価調書(公共事業事前評価結果整理表)

主要目標番号	1.(1)
対象事業	道路·街路事業
主要目標	歩行者等の安全性の確保

		個別事業の妥当性評価					事業間優先度の評価												
優先順位付け の考え方		公共関 与、執行 主執の 主 会当性					貢献度ランクの評価 副次効果ランクの評価							副次効果ラ	シクの評価				
	対象地区·箇所名		事施、 実施、 実規の 事性 の当性	を	環境での虚	荷計画の熟	ランク	歩行者・ 自転車交 通量	自動車交通量	童、障害者、スペルス 小		逐通量又	現況の歩 道幅員	副次効果ランク	評点	事業間ランク	評価委員会意見	総合意見	評価結果
		× = 1.2						人台/12h		量	相在 km								
	(主)甲府韮崎線(甲斐市下今井)						а	60	8,029	-	あり	0.5	1.20	1	2	S	-		実施
	(主)茅野北杜韮崎線(北杜市長坂町 富岡)						а	27	3,635	-	あり	5.9	0.00	2	1		-		実施
																			
歩行者・自転車及 び自動車の交通																			
量が多く、通学路 等求められる安 全水準の高い区																			
間を優先する。																			
									<u> </u>						<u> </u>				
						<u></u>	\$								·				
															·				
									1						1				
								<u> </u>											
							基準値	71	3,314	40	あり	1.0	1.40	基準値	1.5			l	

副次効果評価調書

主要	目標番·	长評1四調 号	1.	(1)		H4				
主要	要目標 歩行者等の安全の確保				主要目標に対 応する副次効 果項目	対象地区·箇 所で想定され る副次効果	評価の説明			
評価	対象地	象地区・箇所名 (主)甲府韮崎線(甲斐市下今井) 生活圏中心都市・拠点機能へのアクセ				の副次別果				
		- 1.交通の利便性の 向上		(1) 生活圏中心都市・拠点機能へのアクセス向上 (2) 市町村中心地・大規模拠点施設へのアクセス向上 (3) 市街地内の交通の円滑化	注					
				(3) 市街を内め文庫の17月1日 (4) 集落間・小規模拠点施設へのアクセス 向上	注					
	· 県 民			(1) 森林機能の維持·向上						
	生活の豊			(2) 憩い空間の創出						
	かさ	- 2 . 生活環境の向上		(3) 生活排水処理機能の向上						
	と経			(4) 良好な市街地空間の確保						
	済の発			(5) 適正な居住空間の確保			·歩行者·自転車交通量 60人台/12h(H22センサス) < 71人台/12h以上			
	発展を支え			(6) 歩行者等の通行空間の確保			・駅と公益施設の連携 0.2km < 1.0km以内 (甲斐市双葉合同庁舎)・他事業との連携 無	0		
±	1 a			(7) 道路景観の向上						
要目標	基盤充電			(1) 中山間地域等の農村生活・生産機能の向上						
頃目	実		水産業の振	(2) 農業生産力の向上 (3) 農業用排水能力の向上						
		興		(4) 農林水産業経営の合理化(非公共)						
				(5) 森林整備の効率化				1		
				(1) 歩行者等の安全性の確保						
		- 1 . 交通	の安全性の	(2) 災害に強い道路の確保						
	暮らし	向上		(3) 都市災害防止						
	らしと経			(4) 交差点の安全性、円滑性の向上						
	済活動			(1) 洪水被害の防止						
	の 安全 性	- 2.洪水 の防止	·土砂被害	(2) 土石流被害の防止						
	確			(3) 崖崩れ被害の防止(4) 地滑り被害の防止						
	保	- 3 . 鳥獣	被害の防止							
			1	ナル機能の強化						
	交通利]便性	アクセス機能							
			主要渋滞ホ水質の浄化	パイントの解消						
			大気汚染の							
			騒音·振動の					ļ		
			良好な景観				車椅子で通行可能な幅員の確保・段差の改善	1		
	生活環	境	ライフライン							
				・交流の場の提供						
		飲雑用水の 糞尿の処理						<u> </u>		
				・学習等活動の支援						
副	水源涵養植自然環境)円滑な提供 総の向上						
			生態系空間							
果項目	防火帯・延 緊急時の過 事故・災害防止 被災時の被			焼遮断帯の確保			取	4		
				達難·救助機能の確保 図書波及の防止			緊急輸送路の整備	1		
				前壊危険性の排除						
			走行安全性							
			林業生産力 遊休農地の					<u> </u>		
	生産性	Ē	新たな公共	用地の創出						
			農地の保全							
			農林産物の自然エネル	・ボーの活用						
			リサイクルの							
	その他	!	文化・歴史的 他事業との	的資源等の保存・復元 一体施丁				-		
	H			ェクトとしての位置づけ						
							副次効果評点合計			

注1)「主要目標に対応する副次効果項目」の欄に"が附されている副次効果項目のうち、「対象地区・箇所で想定される副次効果」の欄に"を記入、「評価の説明,欄に具体的な評価内容を記入する。 注2) 副次効果の内、他の主要目標に該当するものは、当該主要目標内でのランク区分の基準に従いランク付けを行い、ランク』に該当するものは2点、ランクは以下の場合は1点とする。 注3)「-1、(1)歩行者等の安全性の構作。「-1、(2)災害に強い道路の確保、「-1、(4)交差にの安全性、円滑性の向上。を主要目標とする事業(地区・箇所)の副次効果の評価にあたり、「-1、交通の利便性の向上」に基づら副次効果用目については、いずれか1項目のみを抽出し評価を行う。

副次効果評価調書

	主要目標番号 1.(1)				主要目標に対	対象地区·箇				
垭 (冊	生要目標 歩行者等の安全の確保 歩行者等の安全の確保 (サヤネ 単純 東京				応する副次効 果項目					
ат іщ	対象地区・箇所名 (主) 茅野北杜韮崎線(北杜市長坂町富岡) 生活層中心都市・拠点機能へのアクカ						-			
				(1) 生活圏中心都市・拠点機能へのアクセ ス向上	注					
		- 1. 交通	の利便性の	(2) 市町村中心地・大規模拠点施設への アクセス向上	注					
		向上		(3) 市街地内の交通の円滑化						
				(4) 集落間・小規模拠点施設へのアクセス	注					
	· 県			(4) 集落間・小規模拠点施設へのアクセス 向上						
	民生			(1) 森林機能の維持·向上						
	活の			(2) 憩い空間の創出						
	豊か			(3) 生活排水処理機能の向上						
	さと	- 2.生活環境の向上		(4) 良好な市街地空間の確保						
	経済									
	の発			(5) 適正な居住空間の確保			・歩行者・目転車交通量 27人台/12h(H22センサス) < 71人台/12h以上			
	展を			(6) 歩行者等の通行空間の確保			·主要駅からの距離 0.0km < 1.0km以内	0		
	支え			(7) 道路票期の向 F			・他事業との連携無			
主要	る基			(7) 道路景観の向上						
要目標	盤			(1) 中山間地域等の農村生活·生産機能 の向上						
項目	実			(2) 農業生産力の向上						
н		- 3.農林	水産業の振	(3) 農業用排水能力の向上						
		75		(4) 農林水産業経営の合理化(非公共)						
				(5) 森林整備の効率化	ļ					
				(1) 歩行者等の安全性の確保						
	暮	- 1 衣通	の安全性の	(2) 災害に強い道路の確保						
	6	向上	の文主任の	(3) 都市災害防止						
	と経									
	済活			(4) 交差点の安全性、円滑性の向上						
	動の	- 2.洪水·土砂被害 の防止		(1) 洪水被害の防止						
	安全			(2) 土石流被害の防止						
	性確	65 M		(3) 崖崩れ被害の防止						
	保			(4) 地滑り被害の防止						
		- 3. 鳥獸	1	(1) 鳥獣被害の軽減						
	交通利	山庙州		ナル機能の強化 **の無益						
	又地不	JEI	アクセス機	ポンドの解消						
			水質の浄化							
			大気汚染の							
			騒音·振動							
			良好な景観	の創出						
			バリアフリ-	-化の促進						
	生活環	環境	ライフライン	の強化						
			身近な緑地	・交流の場の提供						
			飲雑用水σ)安定供給						
			糞尿の処理							
				と・学習等活動の支援						
副)円滑な提供	ļ					
\ha	自然環	境	水源涵養機							
果項			生態系空間	間の再生 焼遮断帯の確保				-		
目				焼遮町市の雑味 産難·救助機能の確保			緊急輸送路の整備	1		
	事故⋅∶	災害防止		要害波及の防止				<u> </u>		
				S音級及の例正 O崩壊危険性の排除						
			走行安全性							
			林業生産力							
			遊休農地の)解消						
	生産性	ŧ	新たな公共	用地の創出						
			農地の保全	<u></u>						
			農林産物の)販売促進						
		-	自然エネル	ギーの活用						
			リサイクルの	の推進						
	その他	3	文化·歴史	的資源等の保存・復元						
			他事業との	一体施工						
			重要プロジ	ェクトとしての位置づけ						
							副次効果	-		

注1) 「主要目標に対応する副次効果項目,の欄に" "が附されている副次効果項目のうち、「対象地区・箇所で想定される副次効果、の欄に" "を記入、「評価の説明、欄に具体的な評価内容を記入する。 注2) 副次効果の内、他の主要目標に該当するものは、当該主要目標内でのランク区分の基準に従いランク付けを行い、ランク3に該当するものは2点、ランクb以下の場合は1点とする。 注2) 「-1、(1) 昨行者等の安全性の確保、、「 -1、(2) 災害に強い道路の確保、「 -1、(4) 交差点の安全性、円滑性の向上。を主要目標とする事業(地区・箇所)の副次効果の評価にあたり、「 -1、交通の利便性の向上。に基づく副次効果項目については、いずれか1項目のみを抽出し評価を行う。